

施工説明書

TOTO
フリースタイル手すり

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示を無視して、誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負うこと が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負うこと が想定される内容、および物的損 害の発生が想定される内容を示しています。

	は、してはいけません「禁止」 内容です。
	左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく 「強制」内容です。
	左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 手すりの破損や脱落により、けがをするおそれがあります。
	屋外や浴室などの、水がかかったり湿気が多い場所には取り付けない また、下地および商品水を水にぬらさない 部材が腐食することで商品および手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用 される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用する 同梱のねじ、または当社指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、 壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の構造用合板（JAS規格品） または、同等以上の下地材に取り付けるか、別売りの後付け補強板を設ける 土壁・石こうボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、手すりが外れ たり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	各部材は必ず指定の取付方法で取り付ける 指定の取付方法を守らないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用され る方が転倒し、けがをするおそれがあります。

1-2.

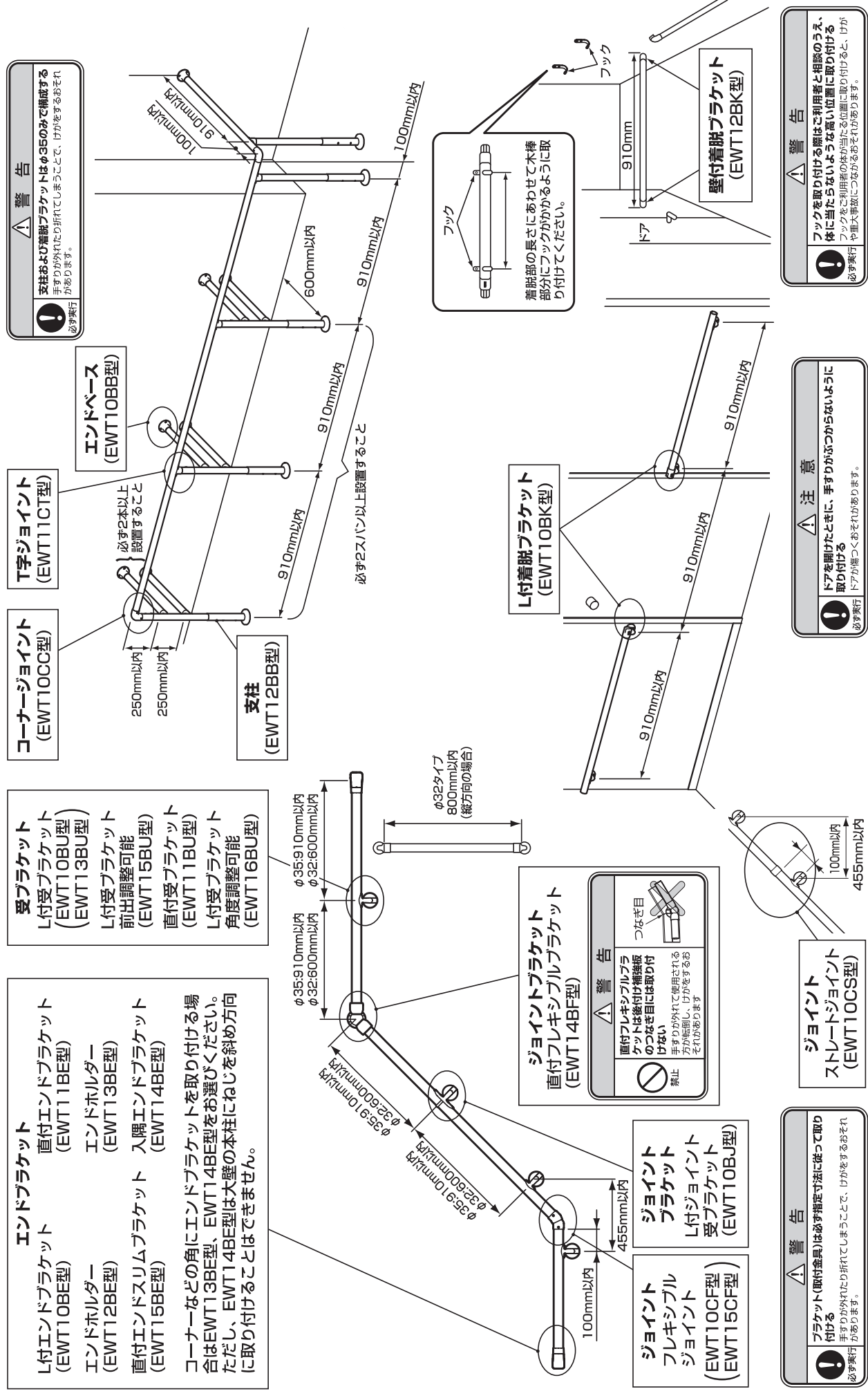
警告	
	取り付け完了後、手すりにガタツキがないことを確認する 手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される 方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込 んで固定する 差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをするおそれがあります。
	木棒の切断は、鉛筆などでけがきを入れ、軸に対して垂直に切 断する 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。
	ブラケット・木棒の固定ねじは、必ず適切な下穴をあけてから ねじ込む 取り付けが不安定となり、けがをするおそれがあります。

注意	
	ねじは十字穴部にバリが出ないように固定する 手などが接触し、けがをするおそれがあります。

2. 取り付け前の注意

取り付け前の注意	
	手すりを取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
	間柱に固定する場合は、壁裏センサーやブッシュ式針などを使用して間柱の位置を確認し、確実に 手すりを間柱に固定するようにしてください。また、間柱が腐食していないことを確認してください。
	屋外や浴室などの水がかかったり湿気が多い場所、水没する場所には取り付けしないでください。 変色や変形のおそれがあります。
	コンクリート下地へ取り付ける場合は別売りの固定金具（樹脂プラグ）を使用してください。

3-1. 各部材の設置条件



3-2.

၆

4. 固定金具（別売品）

品 番	名 称	形 状	入 数	備 考
T110D26型	樹脂プラグ	 φ8×40	20	コンクリート下地固定用 下穴径φ8、 下穴深さ60mm
T110D29型		 φ5×25	20	コンクリート下地固定用 下穴径φ5、 下穴深さ45mm
EWT26DS1A型	スペーサー		1	EWT12BE型用 厚さ6mm
EWT26DS1B型			1	EWT12BE型用 厚さ9mm
EWT26DS2A型			1	EWT13BE型用 厚さ6mm
EWT26DS2B型			1	EWT13BE型用 厚さ9mm
EWT26DS3A型			1	固定部φ54のブラケット用 (一部例外あり注)、厚さ6mm
EWT26DS3B型			1	固定部φ54のブラケット用 (一部例外あり注)、厚さ9mm

注：取付可能品番はEWT10BE型、EWT10BJ型、EWT10BK型、EWT10BU型、EWT11BE型、EWT11BL型、EWT16BU型です。

〈樹脂プラグの対象商品と使用本数〉

樹脂プラグ品番	商品品番	使用本数
T110D26型	EWT12BB型	4本
	EWT10BB型	3本
	EWT10BE型	
	EWT10BJ型	
	EWT10BU型	
T110D29型	EWT11BE型	
	EWT11BL型	
	EWT11BU型	4本
	EWT12BK型	
	EWT13BZ型	
	EWT10BK型	6本

注：EWT13BE型は樹脂プラグを使用する場合、丸皿タッピンねじ（φ4×40）3本を現場手配してください。

※EWT10BC型、EWT10BF型、EWT11BC型、EWT11BF型、EWT12BC型、EWT12BF型、EWT13BD型、EWT14BD型、EWT14BE型、EWT15BD型、EWT15BE型はコンクリート下地固定はできません。

5-1. 各部材の取付要領

(1) 下地の確認

手すりを固定する壁に十分な強度があることを確認してください。

(2) 割り付け、位置出し

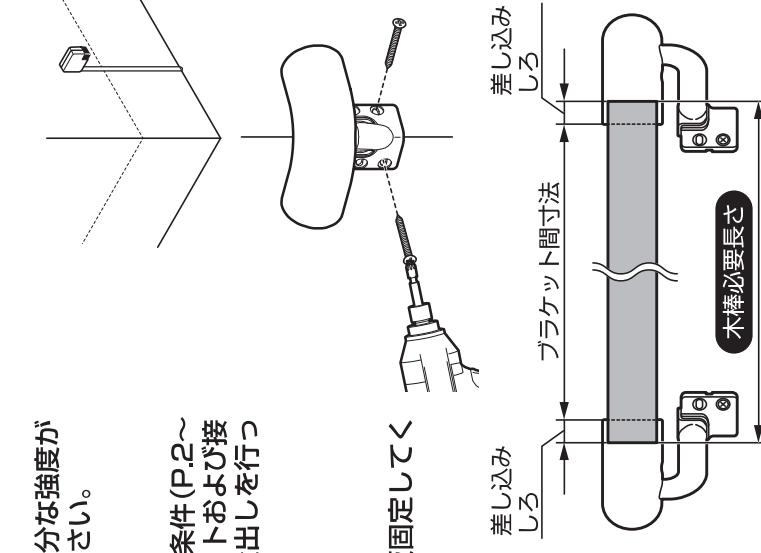
3-1. 3-2. 各部材の設置条件(P.2～P.3)を確認し、ブラケットおよび接続金具の割り付け、位置出しを行ってください。

(3) ブラケットの仮固定

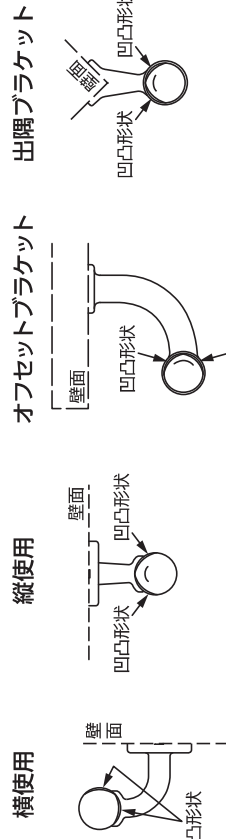
ブラケットをいったん仮固定してください。

(4) 木棒の切断

ブラケット間の寸法を測定し、差し込みしろを考慮して、木棒を必要な長さに切断してください。（※差し込みしろはP.5～P.8を参照ください）



セーフティタイプの施工例



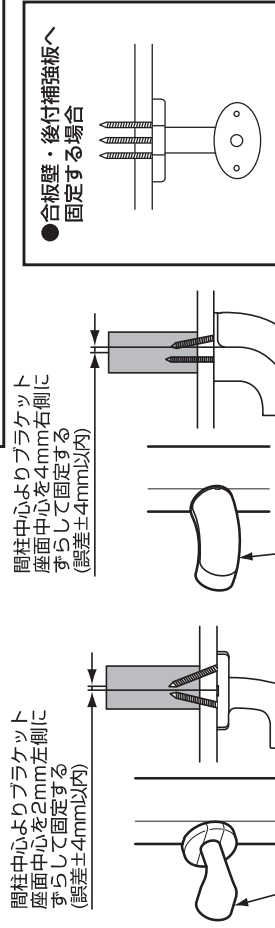
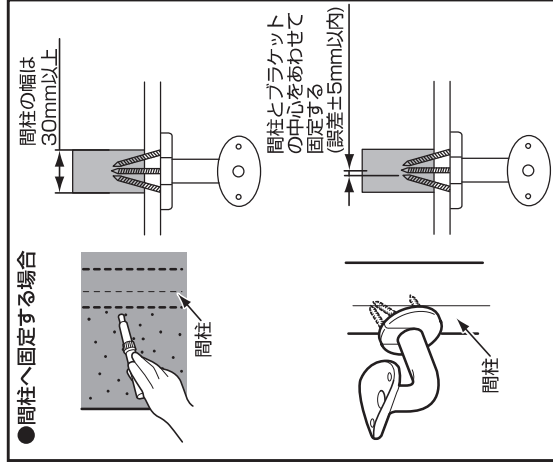
※標準的な取付方法で示しています。使用者が特定できる場合は、その方の使いやすさにあわせて取り付けてください。

(5) ブラケットおよび木棒の固定

鋼柱固定型で行った6名現場監理

- ・L付受ブラケット EWT108U型
- ・L付受ブラケット EWT138U型
- ・L付受ブラケット(前出調整タイプ) EWT158U型
- ・L付受ブラケット(角度調整タイプ) EWT168U型
- ・L付エンドブラケット EWT108E型
- ・直付受ブラケット **注1** EWT118U型
- ・直付エンドブラケット **注2** EWT118E型
- ・オフセットブラケット EWT138Z型
- ・エンドホルダー EWT128E型 **注2**
- ・L付ジョイント受ブラケット EWT108J型
- ・L付着脱ブラケット EWT108K型
- ・直付フレキシブルブラケット EWT148E型

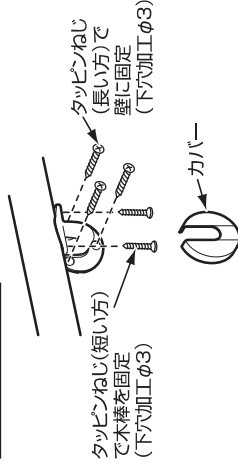
注2：横手すりに使用する場合は下図のように取り付けてください。



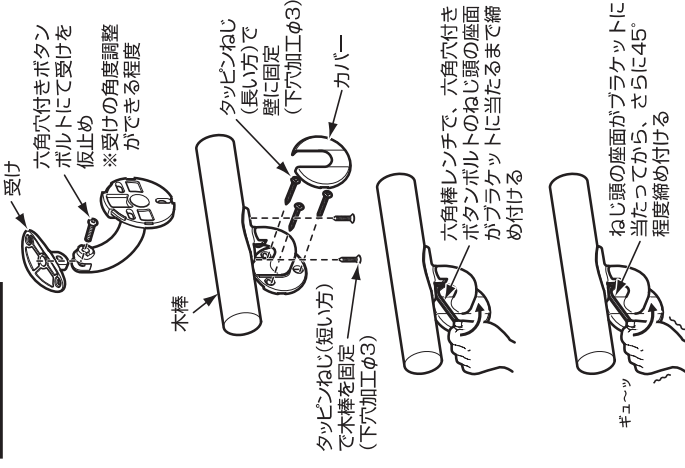
警告

手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

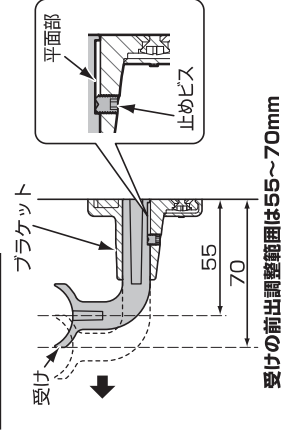
EWT10BU型



EWT16BU型



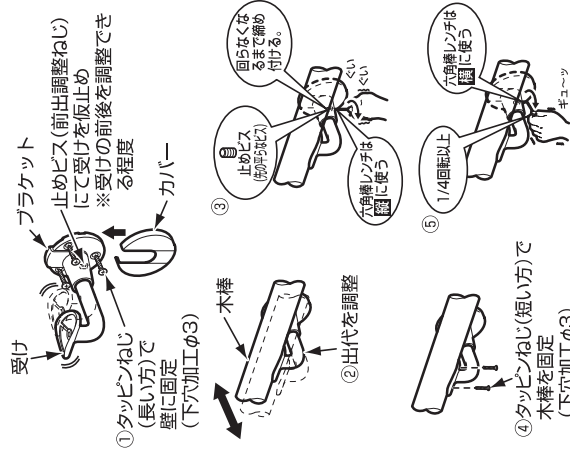
EWT15BU型



敬告生

必ず実行

 ピス頭がブラケットより飛び出していないことを確認し、55~70mmの前出調整範囲で、受けの平面部に止めピスを締め付ける
 ピス頭がブラケットより飛び出している、止めピスが平面部から外れた位置で締め付けると、取り付けが不安定となり、けがをすることになります。
 必ずおこなってください。



止めビスをブラケットの平面部に
に締め付ける

L付ジョイント受ブラケット

EWT10BJ型

警告

差し込み形式のブラケット・接続金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する。
差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをすることがあります。

注意

ジョイントする木棒の端面の隙が1mm以内になるように丁寧に切断する。
木棒の切り口が露出し、けがをすることがあります。

必ず実行

ジョイントプレート

ジョイント受ブラケット

カバー

タッピンねじ(長い方)で壁に固定 (下穴加工φ3)

タッピンねじ(短い方)で固定 (下穴加工φ3)

1mm以内

エンドキャップ

EWT10CE型

奥まで差し込む

タッピンねじで固定 (下穴加工φ2)

差し込みしろ 17mm

L付エンドブラケット

EWT10BE型

タッピンねじ(長い方)で壁に固定 (下穴加工φ3)

カバー

タッピンねじで木棒を固定 (下穴加工φ2)

差し込みしろ 25mm

直付エンドブラケット

EWT11BE型

直付エンドブラケット

タッピンねじ(短い方)で木棒を固定 (下穴加工φ2)

タッピンねじ(長い方)で壁に固定 (下穴加工φ3)

木棒を奥まで差し込む

差し込みしろ 25mm

直付受ブラケット

EWT11BU型

※直付受ブラケットを使用する場合は、壁にブラケットを固定する前にブラケットと木棒を固定してください。

②次に壁にタッピンねじ(長い方)で固定 (下穴加工φ3)

間柱 (30mm×30mm以上)

石こうボードなど

①先に木棒をタッピンねじ(短い方)で固定 (下穴加工φ2)

手すりを縦使いする場合のみ間柱へ固定することが可能です。

エンドホルダー

EWT12BE型

タッピンねじ(短い方)で木棒を固定 (下穴加工φ2)

タッピンねじ(長い方)で壁に固定 (下穴加工φ3)

※ブラケット本体は壁とのすき間を開け、設置してください。カバーのつけ外しができません。

差し込みしろ 15mm

エンドホルダー

EWT13BE型

差し込みしろ 15mm

カバー

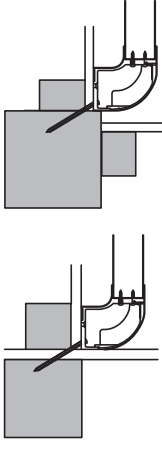
タッピンねじ(長い方)で壁に固定 (下穴加工φ3)

タッピンねじ(短い方)で木棒を固定 (下穴加工φ2)

下図のように、ねじを斜めに固定することで本柱に固定することが可能です。従来どおり真つぐに固定することも可能ですので、設置する壁の状況により壁固定ねじの固定方法が選べます。

●本柱へ固定する場合

・真壁の場合



※斜め方向に本柱固定する場合は、壁固定ねじ2本を本柱に固定してください。
※柱にねじが12mm以上ねじ込まれるようにしてください。

フレキシブルジョイント

EWT15CF型

差し込みしろ 15mm

六角棒レンチ (呼び寸法2.5mm) で止めねじを固定 (下穴加工不要)

EWT10CF型

差し込みしろ 15mm

タッピンねじで木棒を固定 (下穴加工φ2)

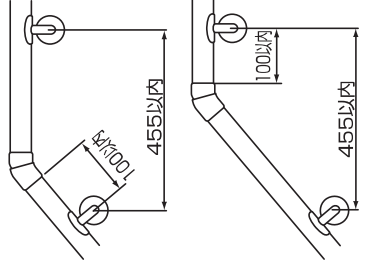
変換アダプター

同梱されている変換アダプターを使用します。

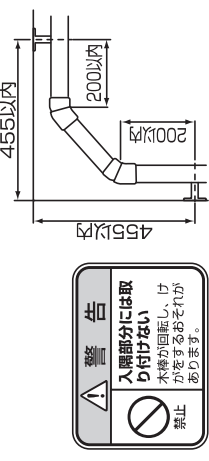
注意

止めねじは両側から均等に締め込み、フレキシブルジョイント表面よりも凹になるようにねじ込む。止めねじがフレキシブルジョイントより凹になっていると、必ず実行 けがをすることがあります。

●勾配部に設置する場合 (単位: mm)



●入隅勾配部に設置する場合 (単位: mm)



警告

フレキシブルジョイント端から片側と反対側以内の位置に、必ずブラケットを1個設け、フレキシブルジョイントと狭むブラケット間隔は455mm以内にする。必ず実行 手すりを外れたり折れたりしてしまうことで、けがや重大事故につながるおそれがあります。

エンドベース

EWT10BB型

差し込みしろ 45mm

タップピンねじ (長い方) で壁に固定 (下穴加工φ3)

警告

右図のように取り付けない

取り付けが不安定となり、けがをすることがあります。

禁止

タップピンねじ (短い方) で木棒を固定 (下穴加工φ2)

ストレートジョイント

EWT10CS型

差し込みしろ 15mm および 9mm

(単位: mm)

9 15

切り欠き

部品A

部品B

①タップピンねじ (長い方) で固定 (下穴加工φ2)

②タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

警告

ストレートジョイント増加分100mm以内の位置に、必ずブラケットを1個設置、ストレートジョイントと挟むブラケット間隔は455mm以内にする

手すり外側に取り付け、まうことで、けがや重大事故につながるおそれがあります。

注意

差し込み形式のブラケット・接線金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する

差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをすることがあります。

入隅・出隅・真壁入隅コーナーフレキシブルブラケット

EWT11BF型、EWT10BF型、EWT12BF型

差し込みしろ 15mm

六角棒レンチ(呼び寸法2.5mm)で止めねじを固定 (下穴不要)

タップピンねじで壁に固定 (下穴加工φ2 EWT10/12BF型の場合) (下穴加工φ3 EWT11BF型の場合)

※φ32の木棒で施工する際は、変換アダプター (EWT10CH型) を使用してください。

底面をカットして 変換アダプター (EWT10CH型) を使用します。

図はEWT11BF型の場合を示す

警告

差し込み形式のブラケット・接線金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する

差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをすることがあります。

必ず実行

注意

止めねじは両側から均等に締め込み、フレキシブルジョイント表面より内側になるようにねじ込む

止めねじがフレキシブルジョイントより内側になっていると、けがをすることがあります。

必ず実行

入隅・出隅・真壁入隅コーナーブラケット

EWT11BC型、EWT10BC型、EWT12BC型

差し込みしろ 25mm

タップピンねじ (長い方) で壁に固定 (下穴加工φ2 EWT10/12BC型の場合) (下穴加工φ3 EWT11BC型の場合)

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

※φ32の木棒で施工する際は、変換アダプター (EWT10CH型) を使用してください。

底面をカットして 変換アダプター (EWT10CH型) を使用します。

図はEWT10BC型の場合を示す

コーナージョイント

EWT10CC型

差し込みしろ 25mm

警告

差し込み形式のブラケット・接線金具では、木棒は奥まで差し込んで固定する

差し込みが浅いと木棒が抜け、けがをすることがあります。

必ず実行

タップピンねじで固定 (下穴加工φ2)

警告

コーナージョイント増加分100mm以内の位置に、必ずブラケットを設置する

手すり外側に取り付け、奥まで差し込んで固定する

必ず実行

(単位: mm)

100以内

100以内

100以内

コーナーホルダー

EWT12BL型

差し込みしろ 15mm

奥まで差し込む

カバー(上からスライドさせる)

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ3)

タップピンねじ (長い方) で壁に固定 (下穴加工φ3)

奥まで差し込む

オフセットブラケット

EWT13BZ型

差し込みしろ 25mm

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

タップピンねじ (長い方) で壁に固定 (下穴加工φ3) 差し込む

注意

開き戸で使用する場合には、開閉するドア端に据った手が当たらない位置にブラケットを取り付ける

必ず実行

手すり外側、けがをすることがあります。

※ドア枠などの出が大きく、手すりか握りにくくなる場合には、取付座面下に補強木などを設けて調節してください。

補強木

コーナーブラケット

EWT11BL型

差し込みしろ 25mm

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

タップピンねじ (長い方) で壁に固定 (下穴加工φ3)

奥まで差し込む

直付エンドスリムブラケット

EWT15BE型

差し込みしろ 15mm

タップピンねじ (長い方) で本柱に固定 (下穴加工φ2)

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

カバー

警告

コンクリート下地には取り付けない

コンクリートが破損し、けがをすることがあります。

禁止

壁仕上り面と柱との段差が10mm以上あることを確認する

必ず実行

取り付けが不安定となり、けがをすることがあります。

支柱

EWT12BB型

カバー

タップピンねじ (長い方) で床に固定 (下穴加工φ4)

座金を入れる

タップピンねじ (短い方) で固定 (下穴加工φ2)

警告

必ずφ35の木棒を使用する

強度が低下し、けがをすることがあります。

必ず実行

着脱ブラケット

EWT10BK型

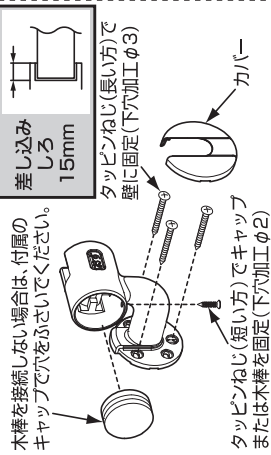
◆着脱部
木棒が奥まで入って
いることを確認して
ください。



タップピンねじで
木棒を固定
(下穴加工φ2)

◆固定部

木棒を接続しない場合は、付属の
キャップで穴をふさいでください。



タップピンねじ(短い方)で付属の
または木棒を固定(下穴加工φ2)

EWT12BK型

◆着脱部
木棒が奥まで入っ
ていることを確認し
てください。



タップピンねじで
木棒を固定
(下穴加工φ2)

◆固定部



「した」の刻印が下面になるように固定する

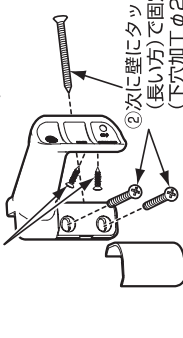


出隅スリムブラケット・出隅スリム受ブラケット

EWT114BD型、EWT15BD型

※出隅スリム受ブラケットを使用する場
合は、壁にブラケットを固定する前にブラ
ケットと木棒を固定してください。

①先に木棒をタップピンねじ
(短い方)で固定(下穴加工φ2)



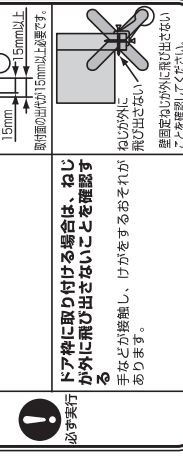
②次に壁にタップピンねじ
(長い方)で固定
(下穴加工φ2)

◆警告
コンクリート下地には取り付けない
ボードや化粧材の上から取り付けない

禁止
取り付けが不安定となり、けがを
するおそれがあります。

取付後に取り付ける場合は、取付
面の出が15mm以上あることを
確認する

取付けが不安定となり、けがを
するおそれがあります。



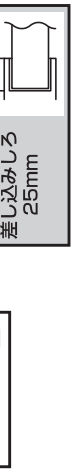
◆警告
ドア枠に取り付けるときは、ねじ
が外に飛び出さないことを確認す
る

手などが接触し、けがを
するおそれがあります。

壁固定部が外に飛び出さない
ことを確認してください。

出隅ブラケット

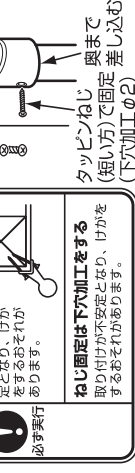
EWT13BD型



◆警告
ボードや化粧材の上から出隅
ブラケットを取り付ける場
合は、柱にねじを12mm以上
ねじ込む

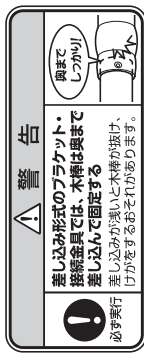
取り付けが不安
定となり、けが
をするおそれ
があります。

ねじ固定は下穴加工をする
取り付けが不安定となり、けがを
するおそれがあります。



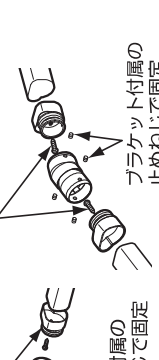
変換アダプター

EWT16CH型



タップピンねじで
変換アダプターを
木棒に固定
(下穴加工φ3)

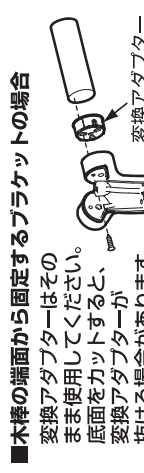
タップピンねじで変換アダ
プターを木棒に固定
(下穴加工φ3)



ブラケット付属の
タップピンねじで固定

止めねじで固定

EWT10CH型



変換アダプターは、その
まま使用してください。
底面をカットすると、
変換アダプターが
抜ける場合があります。

◆木棒の側面から固定するブラケットの場合

底面をカット
してください。

変換アダプターの
スリットをねじ位
置にあわせる



◆警告
底面をカットして使用する
木棒の差し込みが不十分で取り
付けが不安定となり、けがを
するおそれがあります。

T字ジョイント

EWT11CT型



タップピンねじ
(短い方)で固定
(下穴加工φ2)

タップピンねじ
(長い方)で固定
(下穴加工φ3)

奥まで
差し込む

差し込みしろ
25mm

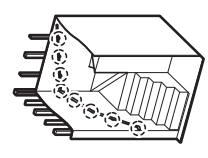
その他のブラケット

次のブラケットは、ブラケットに同梱の施工説明書
をお読みください。

- ・し受ブラケット EWT13BU型
- ・入隅エンドブラケット EWT14BE型
- ・直付フレキシブルブラケット EWT14BF型

6. 点検項目

- 取り付けが完了したあと、手すりにガタツキ
がないことを確認してください。
- 着脱ブラケットは、着脱部が確実に着脱でき
ることを確認してください。



◆商品のお問い合わせは
TOTOTO(株) お客様相談室へ
TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010
受付時間: 9:00~17:00
(長期休暇・年末年始を除く)

◆修理のご利用は、安心・信頼の
TOTOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
TEL ☎ 0120-1010-05
FAX ☎ 0120-1010-02
受付時間: 9:00~18:00
訪問修理: 年中無休 受付時間: 8:00~19:00
ホームページ: <https://www.toto-net.jp>
(長期休暇・年末年始を除く)

◆交換部品・別売品のご購入は
TOTOTOメンテナンス(株)TOTOTOパーツセンターへ
TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99
受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 9:00~17:00
(長期休暇・年末年始を除く)
※インターネットでの部品購入はTOTOTOWebショップへ(24時間受付)
<https://www.toto.jp/ec/html/index.htm>